

令和8年7月13日14時00分

近畿地方整備局

奈良国道事務所

E24 けいなわ 京奈和自動車道 やまとごせ 大和御所道路

かしはらたかだ 橿原高田 I C（大阪方面接続ランプ）の整備効果

○けいなわ京奈和自動車道 やまとごせ大和御所道路 かしはらたかだ橿原高田 I C（大阪方面接続ランプ）が令和8年3月8日（日）6時に開通しました。

○この度、開通後の整備効果を、交通の円滑化、物流効率化の支援の観点から取りまとめましたのでお知らせいたします。

■開通による主な整備効果

【1. 交通の円滑化】

- ・大阪方面⇄ごじょう五條方面の交通が新堂ランプ交差点から開通した接続ランプへ転換し、大阪方面⇄五條方面の新堂ランプ交差点を経由する交通量が6～9割減少
- ・新堂ランプ交差点を先頭とする渋滞が解消
 - 五條方面流入部 開通前 3, 200m ⇒ 開通後 0m
 - 大阪方面流入部 開通前 150m ⇒ 開通後 0m
- ・新堂ランプ交差点通過時間
 - 五條方面→大阪方面 開通前 約14分 ⇒ 開通後 約1分 約13分短縮
 - 大阪方面→五條方面 開通前 約5分 ⇒ 開通後 約1分 約4分短縮

【2. 物流効率化の支援】

- ・京奈和自動車道の旅行速度の向上とともに所要時間の時間信頼性が向上
 - ごせみなみ御所南 IC→大阪府・奈良県境
 - 開通前 約22分 ⇒ 開通後 約5分 約17分減少
- ・物流企業の業務スケジュールの改善など、物流の効率化に寄与

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所
副所長 横山 健司（よこやま たけし）
計画課長 村上 智哉（むらかみ ともや）
電話：0742-33-1391（代表）

1. 交通の円滑化

- ^{かしはらたかだ}橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)の開通により、大阪方面⇄^{ごじょう}五條方面の交通が^{しんどう}新堂ランプ交差点から接続ランプへ転換。
- 新堂ランプ交差点経由の交通量は、五條方面⇒大阪方面で約6割減少、大阪方面⇒五條方面で約9割減少。また直進青時間の信号現示が延長可能となり^{ごじょう}渋滞が解消。
- 渋滞の解消により、新堂ランプ交差点の通過時間が五條方面⇒大阪方面で約13分短縮、大阪方面⇒五條方面で約4分短縮。

■^{かしはらたかだ}橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)の開通前後写真

▼^{しんどう}新堂ランプ交差点の^{ごじょう}五條方面流入部

【開通前】

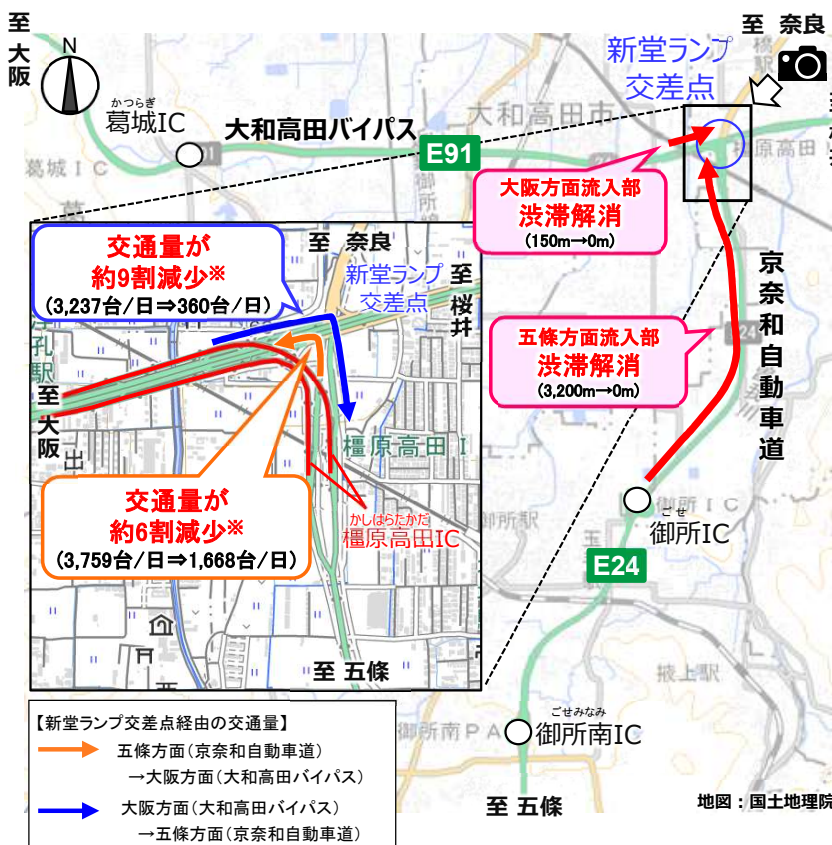


【開通後】



※渋滞長調査結果(開通前:R7.10.28、開通後:R8.5.12)

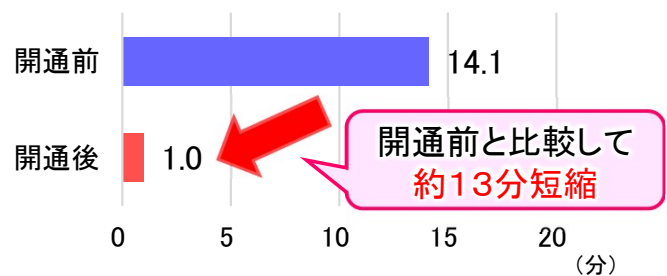
▼^{かしはらたかだ}橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)位置図



※交通量は、交通量調査の結果から昼夜率(令和3年度全国道路・街路交通情勢調査)を用いて算出
出典:交通量・渋滞長調査結果(開通前:R7.10.28、開通後:R8.5.12)

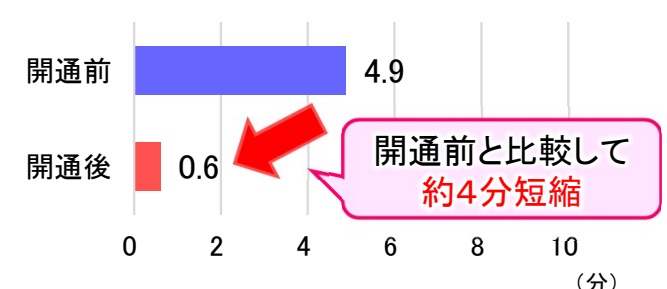
■新堂ランプ交差点通過時間の変化

▼南:五條方面(京奈和自動車道) →大阪方面(大和高田バイパス)



※通過時間は、滞留最後尾車両が新堂ランプ交差点を通過した最大所要時間
出典:渋滞長調査結果(開通前:R7.10.28、開通後:R8.5.12)

▼西:大阪方面(大和高田バイパス) →五條方面(京奈和自動車道)

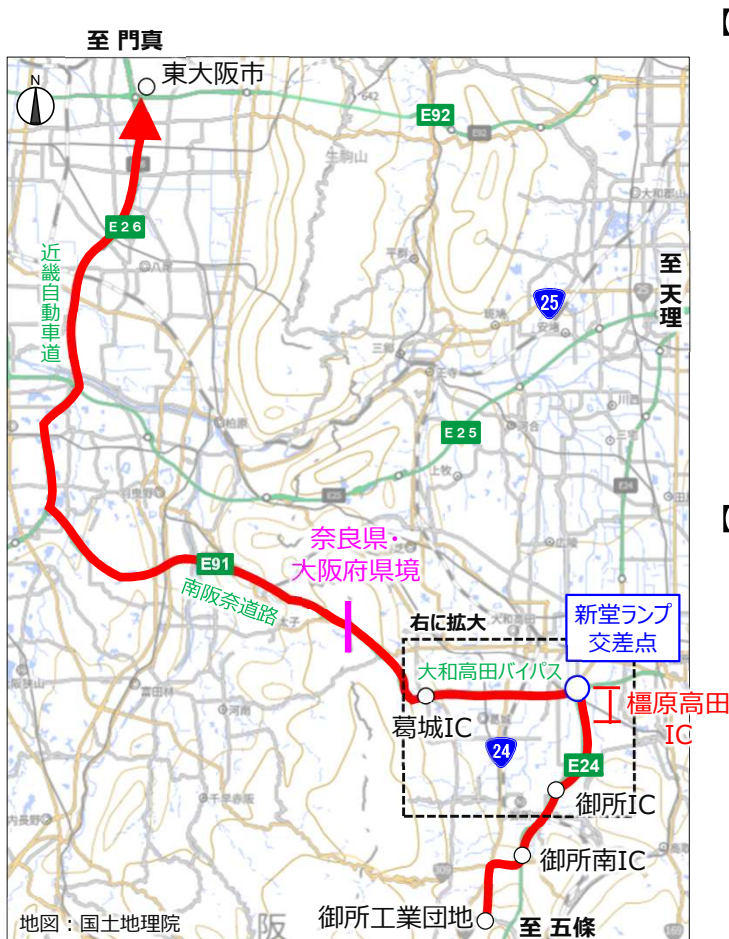


※通過時間は、滞留最後尾車両が新堂ランプ交差点を通過した最大所要時間
出典:渋滞長調査結果(開通前:R7.10.28、開通後:R8.5.12)

2. 物流効率化の支援

- ^{かしはら たかだ} 橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)の開通で、京奈和自動車道の^{けい な わ}旅行速度が向上。
- ^{ごせみなみ} 御所南IC～大阪府・奈良県境間で、所要時間のばらつきが約17分減少し時間信頼性が向上。
- 走行時間の短縮や輸送時間の信頼性向上により、物流企業の業務スケジュールの改善など、物流の効率化に寄与。

■ 橿原高田IC(大阪方面接続ランプ) 開通前後の旅行速度



【R7.3～5(平日、10時台) 開通前】



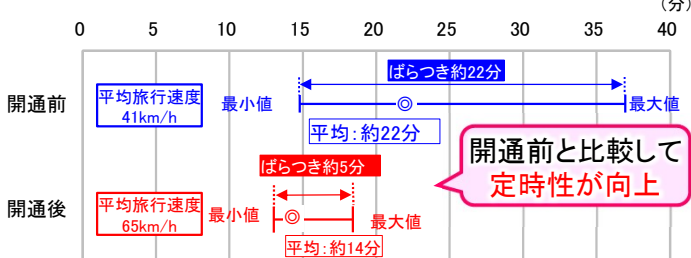
【R8.3～5(平日、10時台)開通後】



出典：ETC2.0プローブデータ(開通前：R7.3～5、開通後：R8.3～5、平日ピーク10時台)
※開通後R8.5は、5.1～5.24の速報値を用いている。
※開通前：新堂ランプ交差点経由 開通後：橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)経由

■ 時間信頼性の向上

▼ 所要時間の変化
(御所南IC→大阪府・奈良県境(15.6km)) (分)

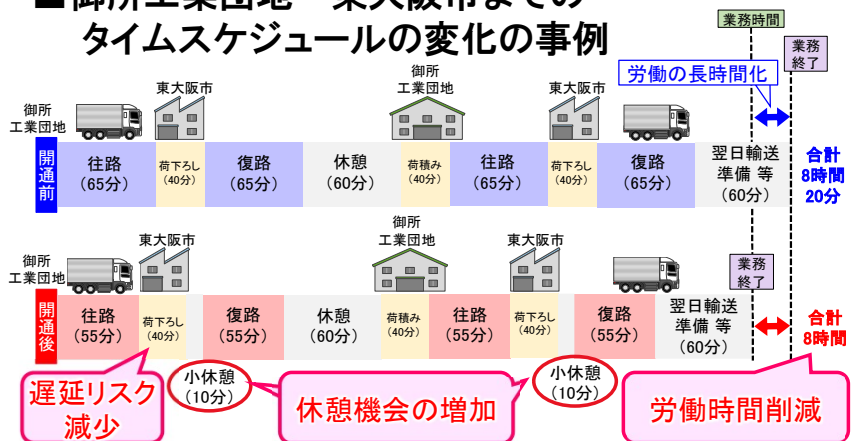


出典：ETC2.0プローブデータ(開通前：R7.3～5、開通後：R8.3～5、平日ピーク10時台)
※開通後R8.5は、5.1～5.24の速報値を用いている。
※開通前：新堂ランプ交差点経由 開通後：橿原高田IC(大阪方面接続ランプ)経由
※所要時間はDRMリンク、リンクごとの旅行速度を用いて算出

▼ 物流事業者の声

- ・橿原高田IC大阪方面ランプの接続により、大阪方面への輸送時間が大きく短縮した。これによりドライバーは、渋滞による遅延の心配が減り、また出発時間を変えずに、途中で休憩時間を確保できるようになり、心理的負担の軽減、安全運行の向上、生産性の向上につながっている。
- ・時間短縮により大阪で荷下ろし後、御所市へ戻り、再積載・再出発するピストン輸送の効率と確実性が向上し、運行計画の立案も容易になった。

■ 御所工業団地→東大阪市までのタイムスケジュールの変化の事例



出典：御所工業団地内の物流企業 ヒアリング結果(R8.5.26)



3. 京奈和自動車道 大和御所道路の概要

大和御所道路は、京奈和自動車道の一部を構成する道路で、広域的なネットワークの役割を果たすとともに、広域ネットワークの形成による地域間のアクセス性の向上、物流の効率化による産業支援、観光産業の活性化等への寄与を目的とした道路です。

○事業の概要

区 間	(起) 奈良県大和郡山市伊豆七条町 (終) 奈良県五條市居傳町
道路延長	27.2km
道路規格	第1種第2級
設計速度	100km/h
車 線 数	4車線

○主な事業の経緯

平成元年度	基本計画決定
平成4年度	大和御所道路27.2km 事業化
平成6年度	工事着手
平成18年度	郡山南IC～橿原北IC間 開通(7.8km)
平成23年度	橿原高田IC～御所IC間 開通(3.7km)
平成26年度	郡山下ツ道JCT～郡山南IC間 開通(1.6km) 御所IC～御所南IC間 開通(2.5km)
平成29年度	御所南IC～五條北IC間 開通(7.2km)
令和8年3月	橿原高田IC(大阪方面接続ランプ) 開通

○位置図



○平面図

